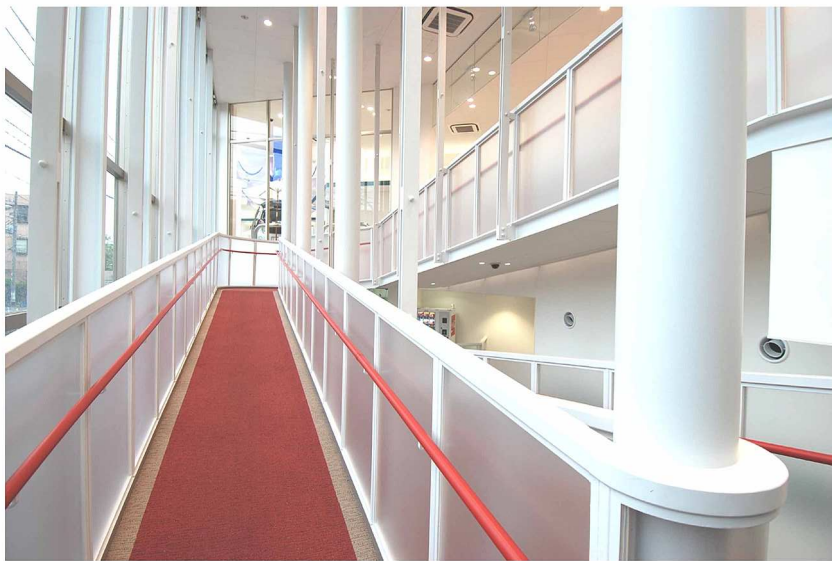
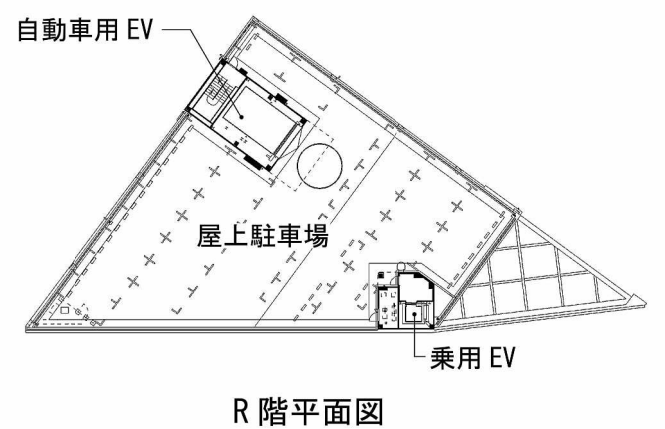
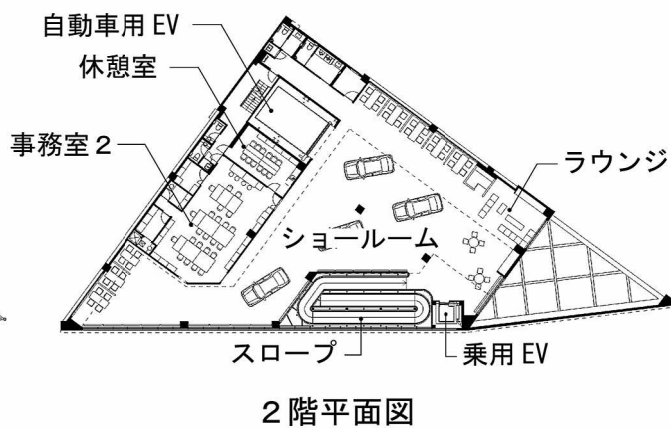
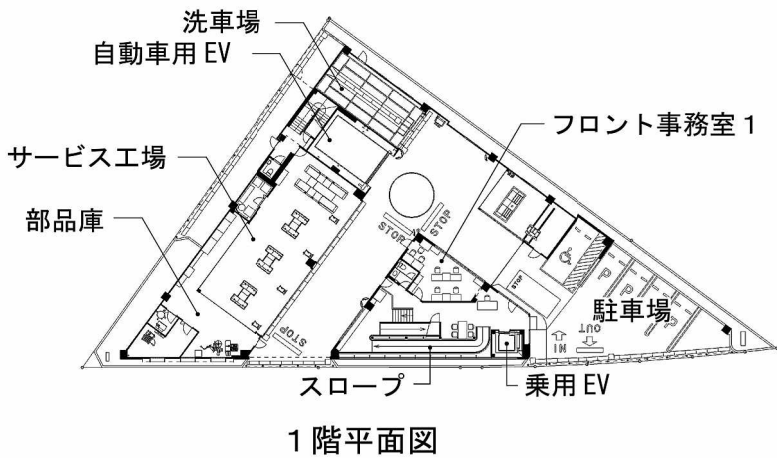


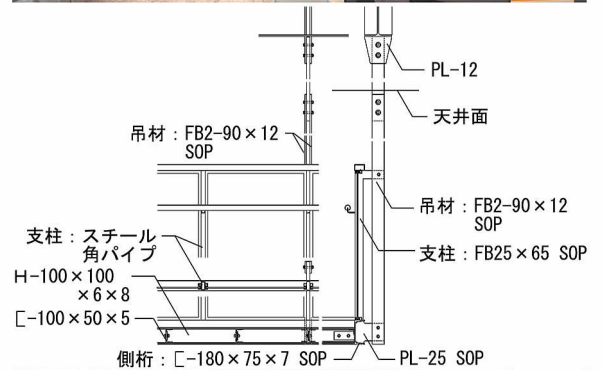
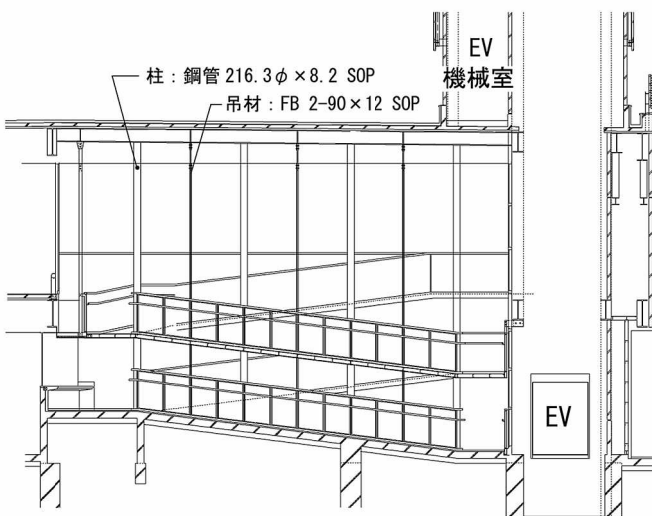
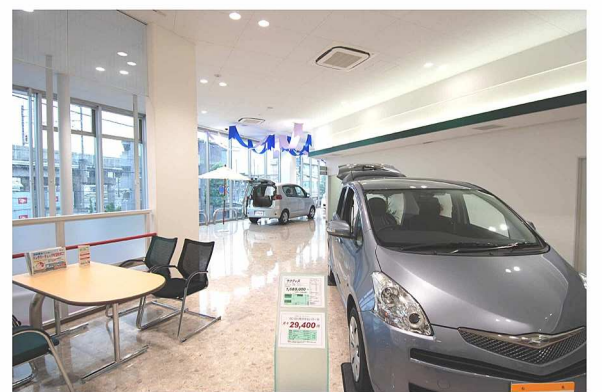
三角のパズル

JR南武線に並行して走る市道中原4号線、通称南部沿線道路が四角形の対角線を切り裂いたような三角形の敷地はこの種の用途には決して広くない1,031㎡で、建蔽率は角地の適用で70%である。自動車販売店のショールームは来客のアクセスの容易さから1階に設けることが大原則であるが、敷地や法的制限から2階に設けざるを得なかった。来客に苦痛を与えず億劫にさせず、いかにスムーズに2階へ誘導するかが計画の大きなテーマとなった。

自動車を2階、屋上に上げるためのエレベーター、客用のエレベーター、法的な階段、事務所や客用便所等をどのようにプランニングするか、ジレンマの日が続いた。論理的には、複数解が矛盾してしまう「ジレンマ」、論理的に解けそうでは不思議と解答が見つからない「パラドックス」に対して、唯一解が出せるものを「パズル」と定義することができる。この計画はパラドックスであったのか、果たしてパズルであったのか。



1階の主入り口からエレベーター乗り場の横に客用の斜路を設けた。法的な階段に代わる勾配8分の1のスロープである。床を支える桁は高さ180mmのチャンネルで、R階の梁から90mm×12mmのフラットバー2枚で吊る。揺れ、振動、歩行音の発生を完全に制する工夫がなされた。道路からカーテンウォール越しに見るスロープはあたかも宙に浮いていて、昇降する客は外部の眺望と夢を提供する自動車へのアクセスに時を忘れる、そんな斜路を目指した。飛び跳ねて斜路を上がる子供を笑顔で追う親の表情に安堵する。



スロープを利用することで動力を使わずに2階へ移動。それは環境にやさしいだけでなく、身体にも良い。ここで働く社員は毎日このスロープを往復することでメタボ体質が改善されたそうだ。スロープの天井には消費電力の少ないLED照明を採用。また、一部落下防止用にアルミ製ルーバーを設置。待合コーナーにやわらかい光を届ける。

設計概要

横浜トヨペット中原店
 用途：自動車販売店舗
 自動車整備工場
 構造：鉄骨造 地上2階建
 敷地面積：1,031.92㎡ (312.16坪)
 延床面積：1,551.15㎡ (469.22坪)



株式会社 深沢義昭設計事務所

設計者：1級建築士 国土交通大臣登録第74846号 深沢義昭
 〒231-0012 横浜市中区相生町2-48-2 TEL. 045(640)6788 FAX. 045(640)6789
 E-Mail: alo@fukazawasekkei.com HP: http://www.fukazawasekkei.com/